

このまち
津市で輝く

津ぶっこ生産者を追いかける
～Vol.6 杉～

百年前に曾祖父が植えた木
この価値を生かすことが使命



美杉町上多気 林業者 ^{つじむら} ^{ひとし} 辻村 仁詩さん

かつては村人全員が林業に従事していたという上多気地区。先人たちは、地面から4～5mの枝を切り落とす「枝打ち」と、森に光を取り入れるための「間伐」を定期的に行うことで、節が無く、年輪構成の整った杉を100年かけ育ててきた。こうして受け継がれる多気産の杉木材は、その高い品質から高値で取り引きされていたという。しかし、木材の需要低下に伴い林業従事者は減少。辻村さんがこの地域の林業を担う最後の若手となった。

「日本で育った木は、日本の風土に合った最高の建築材料。夏は湿気を吸い込み、冬は水分を放出し、湿度が一定になるよう自動調整する力がある。そして軽く強い杉は、柔軟で耐久性にも優れている。先代たちが残してくれた良質な木を多くの人に使ってもらうことが、日本の森を、そして林業を豊かにするでしょう」



津ぶっことは…津市の農林水産業をもっと元気にするため、ブランド品目として推進している13品目の産品 ▶次回は「こんにやく」



津市シティプロモーション情報

Facebook ページに いいね! して、津市の **楽しい!** **お得!** 情報を毎日ゲット♪

facebook

津市シティプロモーション情報

広報つ!

毎月1日・16日発行

- 編集・発行
津市政務部財務部広報課
〒514-8611
西丸之内23-1
☎059-229-3111
FAX 059-229-3339
- 印刷
寿印刷工業株式会社